

2016 年度育成料のあり方検討部会（第 5 回） 議事要旨

日 時：2016 年 10 月 14 日（金）18：00～20：00

会 場：市庁舎 会議室 2－5

議事次第：

- 1 開会
- 2 議題  
育成料のあり方について
- 3 閉会

配布資料：

- 資料 1 検討部会席次
- 資料 2 育成料あり方検討部会報告書（案）

出席者：

氏名	所属	出欠
◎金子 和正	家政学院大学	出
藤田 義江	町田市社会福祉協議会	出
大野 浩子	NPO 法人子ども広場あそべこどもたち	出
櫻井 幹也	町田市公立小学校校長会	出
澤井 宏行	町田商工会議所	出
大森 雅代	町田市中学校 PTA 連合会	出
白井 信昭	市民	出
小林 園子	こばやし会計事務所	出

司会： 櫻井委員から、遅れるとの連絡が予め入っています。

ただいまから第5回育成料のあり方検討部会を始めさせていただきます。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。短い時間で資料に目を通していただきましてありがとうございます。

次回11月2日子ども子育て会議での答申案としてまとめていただければと思います。よろしく願いいたします。本日は傍聴の方が1名おります。特に問題がなければ入室していただいて会議を進めさせていただこうと思いますが、よろしいでしょうか。

〔事務局より新規職員の紹介、事務局より配付資料の確認〕

金子部会長： 11月2日は保育料とともに全体会議に部会の報告書を出すことになっておりまして、部会は今回が最後になります。すでに報告案については見ていただいたと思います。

〔事務局より資料について説明〕

金子部会長： 第1章から議論したいと思います。

最初は現状なので、事実だけを述べられているのだと思います。私の世界では図と表を分けて、図のタイトルは下に、表のタイトルは上に入れるのが世界標準だと思います。例えば3ページは表で、2ページは図となります。2ページの図は左と右の両方が人数なので離れた方がいいと思います。

白井委員： 2ページの2の4行目、「受益者負担の適正化に関する基本方針」はいつ出されたものですか。

児童青少年課長： 2011年8月に出されたものです。

金子部会長： (2011年8月)と入れたらいいと思います。3の2015年4月は数字は小さくなっています。

小林委員： 図表1-4-1で、表題は現行制度の利用者負担額ですが、該当数の数値は2015年度の人数だと思われます。2015年度と書いたらいいと思います。

金子部会長： 表の下に該当数は2015年度と書いた方がいいでしょうか。「2734人」についてはカンマを入れた方がいいと思います。

白井委員： 3ページの(2)他市との比較で、今まで非公開の表をもらっていた中では、東京都の自治体ばかりだったのに、ここに出てくる東京都の自治体は八王子市だけで、

他は神奈川県ばかりとなっています。町田市の規模のものは少ないので、小さくなったとしても、府中市、小平市、東久留米市などと比較してもいいと思います。保育料の報告書でも東京都内の市が出ています。

児童青少年課長：　ここは、6,000円前後のところ掲載しています。一覧では出せない  
ので近隣の多摩市や日野市との比較などを入れておきます。

白井委員：　東京都は都から補助金が出ていて特別に配慮しているところなので、神奈川県が出てくる以上、東京都も入れた方がいいと思います。

児童青少年課長：　保育料と合わせると近隣市では、多摩市、八王子市、相模原市、横浜市、遠いところでも大和市、柏市、藤沢市と比較していますが、委託で出しているところが少ないので検討しますが、少なくとも東京都が入るようにします。

白井委員：　東京都の自治体が資料で載っているのに、町田市より低いところが意図的に外れているよりも、堂々と町田市より低いところを入れるべきだと思います。

4ページに関して、保育料の報告書では経費だけではなく、国から下りてくるお金が増えて、差額がどうなったかという表を掲載しています。育成料では経費が増えた分しか書いていませんが、補助の分を入れてプラスマイナスはどうなっているのでしょうか。

児童青少年課長：　新制度で単位が変わったということで、もらっている補助金があります。どれだけ増えたかというのは手元に資料がありませんので後で対応したいと思います。

子ども総務課長：　保育料と育成料は焦点が違っていて、育成料では受益者負担という中で議論しましたので、その部分は示してきていません。

金子部会長：　全部が同じでなくとも構いませんが、どういうスタンスで出しますか。

子ども総務課長：　保育料は新制度で市が負担する分が増えたところからきています。育成料は本来負担してもらうべき分に対して今の負担という議論からきています。

小林委員：　新制度の中で経費が増えただけではなく、国費が増えていたのであれば、そのことを入れた方がいいと思います。「この増加分は公費によって負担されています。」と増加分は公費だと明言していますが、全額が町田市の負担というわけではないと思います。補助金の下りてきた分があってさらに経費が増えていると記載するべきだと思います。

金子部会長：　3年後の見直しを考えると、また補助金が増えているのにどうして見直し

をしなくてはいけないのかということになります。

白井委員： 受益者負担率 50%という基準がありますので、それでもいいのではないのでしょうか。こっそり上げるのではなく、堂々と上げたらいいと思います。

金子部会長： 文言で書いたらいかがでしょうか。

負担率が 50%になった時はトントンになるのでしょうか。

児童青少年課長： それは何とも言えません。

小林委員： 4 ページで 16,024 円上がりましたとありますが、図表 2-1-1-1 のタイトルをみると指定管理者が運営する学童クラブとなっています。公設公営はデータを出せないの参考扱いのものであり、育成料の全体を表してはいないと思います。

国からも補助金が増えたということを文章でぼかして書いているあとに最後に 16,024 円と 1 円単位まで細かい金額を出すとバランスがとれないと思います。また、指定管理者の分だけで、育成料全部が増えたことを示しているわけではありませんし、業者がプロポーザルで出した金額でしかありません。

逆算すると負担率がでますが、指定管理者が 20%ぐらいとなっています。年間 7,400 万円は 6 ページの総額で増えているというところで、視覚的に入っているの十分ではないでしょうか。

白井委員： 1 人 16,000 円増えているのであれば、1,700 円の増額では全然足りないと思われることも心配になってきます。

小林委員： 4 ページの第 2 段落の「一方で、学童保育クラブ運営経費は・・・増加しました。」の一文を削除し、図表の 2 つを削除します。運営費が増加したという表を出して、「この増加分は公費で負担しています。そのうち、国、都の補助金を除いて、市が 50%以上を負担しています。」というのはいかがでしょうか。6 ページの表では、17.2%、17.8%、17.5%と出していますので、4 ページでは経費の話なので運営費と利用者数の推移だけを表にしたらいかがでしょうか。

金子部会長： 指定管理者の運営する学童保育クラブなので、よく見ると浮いてしまいます。市の公立の学童保育ではこの表は作成できないのでしょうか。

子ども総務課長： それができませので、この資料を出しています。保育料の検討においても、公設公営の資料ができないので、民間保育所について出しています。

金子部会長： 指定管理者の学童保育の費用の図があると経費が上がったのがよくわかります。ただし、これをみて 3,000 円上がるのかと思われまじし、公設公営は挙げられ

ないので指定管理者の表だけでいかがでしょうか。経費と受益者負担の割合の表としましょう。

小林委員： 5 ページに市民意識調査を引用していますので、この調査概要が必要になると思います。

事務局： 最終的には、保育料と育成料をセットになって報告書になります。その時にはじめにおわりにのところに意識調査について入れます。

子ども総務課長： 詳細は資料として示したいと思います。

金子部会長： 5 ページの図は場所としてはいかがでしょうか。

白井委員： 8 ページに持ってきた方がいいと思います。

金子部会長： 8 ページの図 2-1-2-4 の上に今後の育成料の見直しのあり方の図と文言を持ってきた方が流れが続くと思います。その方が市民の意識調査ではこうだというのがわかりやすくなります。

藤田委員： 2-1-1-3 の図で、市のルールがでてきますが、意味がわからないと思います。

小林委員： 4 ページで、「指導員が 47 名追加され、学童保育クラブの入会児童による、保育サービスの差は解消されました。」とありますが、保育サービスの差とは何のことでしょうか。その問題点が解消されたということはあるのでしょうか。

藤田委員： 指導員の配置について国が定めたので人の目が行き届くようになったということだと思います。

子ども総務課長： 2 ページで整理しています。

児童青少年課長： 今までは児童数による基準がなかったので児童数の差によって、目が行き届いたり行き届かなかったりしたという点は解消しましたということです。

小林委員： こういう問題点があったが 47 人増えたので解消されたというように記載するとわかりやすいと思います。

金子部会長： 子ども対学童指導員の人数で是正があったというように文言を追加して欲しいです。

小林委員： 解消されたということを説明して欲しいと思います。8 ページでは「また、保護者の意見として」と記載していますが、正しく「意識調査の結果として」と記載した方がいいと思います。

白井委員： 6 ページの 3 行目に「事業経費の 1/2 である」と記載していますが、国ではどう表現しているのでしょうか。望ましいとしているのでしょうか。また町田市の基

本方針は適切であると表現しているのでしょうか。

児童青少年課長： 国では図で示しているだけですので、望ましいという文言もその方が  
良いという文言もありません。町田市の基本方針では 50%が適切であると書いてあり  
ます。

小林委員： 6 ページで、第 1 段落では国の話をしていますので、第 2 段落は「一方で町  
田市では、」と書き出した方がいいと思います。

金子部会長： 9 ページでタイトルは応能負担で、中身を読むと応益負担となっています  
が、応益負担からという表現でわかるでしょうか。

子ども総務課長： 所得の低い世帯に配慮した場合は応能負担がいいというのでタイトル  
ではそう記載しています。

小林委員： 応益負担という表現は削除してもいいのではないのでしょうか。応益負担は施  
設料であり、「応益負担から」と記載すると少し意味合いが違ってきます。

白井委員： 本文中で応能負担は鍵括弧がついているので、応益負担についても鍵括弧を  
つけた方が対比していることが分かってわかりやすいと思います。

小林委員： 9 ページでは「学童保育クラブを利用する世帯の収入状況には開きがあるこ  
とがわかりました。」とあり、図表 3-1-1 と「子育て保育事業と利用している世帯は年  
収 400 万円以上 1,000 万円以下の世帯が多くなっています」と記載されていますが、  
利用者と年収はあまり関係がないと思います。施設利用料なので、保育とは違って開  
示しても意味がないと思います。

図についても、意識調査結果と書いていませんが、文章を読むと意識調査だとわかり  
ます。アンケート回答者のうち学童保育を利用している方が 24%という中での結果で  
るので、利用者全体を表していないと思います。この図とこの文章は取ってしまっ  
てもいいと思います。

金子部会長： 図と「学童保育クラブを利用している世帯は年収 400 万円以上 1,000 万円  
以下の世帯が多くなっています。」は取ってしまっただけでいいのでしょうか。

ただし、これは 2,100 円増額しても大丈夫かどうかの根拠の資料にもなっています。

小林委員： また、根拠として使うのであれば、図 2-1-2-4 の世帯収入別も出した方がい  
いと思います。問 8 の回答から利用者だけを抽出しているのですが、統計上は意味を  
なすのでしょうか。

事務局： 母数が 426 人いるので統計的には意味のある数字だと思います。表記の仕方と

しては総数も母数も書いていませんが、統計的には意味がないわけではなく、イメージとしてはやはりこのような感じになると思います。

金子部会長： 応能負担を取り入れて、そのうち、利用している方の年収がどれくらいかはこれを読むと600万円から800万円、次いで400万円から600万円となっています。

図を残すことは差しさわりのないと思いますが、その上の2行はいらないと思います。

小林委員： 意識調査の母数を入れるか、もし出すとしたら注釈のようなものを入れた方がいいと思います。

白井委員： 左側が目盛りが細かすぎるのではないのでしょうか。

金子部会長： どちらにしても、正規分布しないで右に寄っているということがわかります。図3-1-1は残すことにしたいと思います。

〔金子部会長より、第3章提言について確認〕

金子部会長： 提言2の応益負担ははずして構いませんか。

白井委員： 提言1で、「育成料を現在の利用者負担割合を」の言い回しは、「育成料の現在の利用者負担割合を」ではないかと思います。または、「現在の」も削除していいと思います。

金子部会長： 「現在の」をとってしまって、「育成料の利用者負担割合を」ではいかがでしょうか。

白井委員： 提言1の下の文章での第2段落で月いくらの増額と書いていますが、現在の育成料よりという言葉を入れた方がいいと思います。

子ども総務課長： 最後に現行の17.5%からと記載していますが、最初に持ってきた方がいいかもしれません。

白井委員： %の話だけでなく、金額でも現行よりもと記載した方がいいと思います。

児童青少年課長： 22%と23%については説明が付いていますが、検討の前提として現行の17.5%と比較して、と入れたいと思います。

金子部会長： 表現として、検討したということがわかる「考えの」という言葉は残して欲しいと思います。

「できるだけ利用者の負担を少なくする考えから、現行の17.5%から22%程度との意見や、公費負担を抑える考えの23%」でいかかでしょうか。

白井委員： 「引き上げることが望ましい」という提言となっていますか、望ましいというよりは、上げざるを得ないという話し合いをしてきたと思います。

子ども総務課長： 市は上げざるを得ないのですが、提言なので上げざるを得ないという言葉はなかなか合わないと思います。

金子部会長： 「～引き上げること。」で終わりにしてはいかがでしょう。

小林委員： 第一文で、他人の税金を使うからもっと公費の負担を減らすべきという内容になっていますが、受益者負担 50%ということから議論を始めてきたと思います。ただし、この部分を削るといきなり市民意識調査になるので、少し表現を練った方がいいと思います。

白井委員： 「『5,000 円から 10,000 円の増額』が一定程度ありました。」とありますが、それよりも比率が多い「1,000 円未満の増額」がないのはなぜでしょうか。8 ページで「むしろ減額すべきである」、「月額 1,000 円未満の増額」、「1,000 円程度の増額」を足すと 66.9%にもなります。そういう意見があったというのをに入れてほしいです。

金子部会長： 「市民意識調査においては、・・・一定程度ありました。こうしたことを踏まえ、」は削除してもいいのではないのでしょうか。「一定の負担を求めることが妥当と考えます。増額の適正な金額としては、安定して・・・」と続けてはいかがでしょう。継続的に安定して継続的に事業を行うにあたり、必要な収入を確保することが目的です。

白井委員： 少なくとも「5,000 円から 10,000 円の増額」があるのは不自然です。1,000 円程度の増額が 1,700 円の増額になっているので驚くのではないのでしょうか。

金子部会長： 書いてしまうと残ってしまいます。書いていないと中を読むことができます。だから、ここを取るべきだと思います。

小林委員： 部会長に賛成で、5%増額の根拠として 1,000 円でもいいという人が多かったと読めてしまいます。そういう流れではなかったはずですよ。

子ども総務課長： 下のところで結び言葉は「こととの、結論に至りました。」ではいかがでしょうか。

小林委員： 学童保育サービスを安定して継続的に事業を行うということが検討部会の始まりですが、サービスの充実の要望が増えているということや、サービスを安定的継続的に提供することに関しては、適正な金額がとしか記載されていません。それをやるためには経費がかかり、そのために利用者の負担と構成されるべきで、最初には「税金を充てていることから」というのではないと思います。サービスを安定的継続的に行うために一部は利用者に負担していただくと記載した方がいいと思います。



児童青少年課長： 「学童保育は利用する児童数が年々増加していて、運営費が年々増加しているという中で、利用者の方にも一定の負担が求めることが妥当と考えられます」というのがいいと思います。

小林委員： もし税の公平性をコメントするならばその次にして欲しいと思います。

金子部会長： 「限られた税金の中で、学童保育サービスの安定的継続的な充実を行っていくため、利用者にも一定の負担を求めざるを得ません」で始めると、少しきつつけられどもいいと思います。

白井委員： 都下の他市の状況を見て、町田市が堂々の 1 位になっていることや、1,000 円程度という意識調査の結果が出たが、1,700 円は相当高いというイメージがあります。それが見えなくなっています。働く親を支えるということと、上げ幅という検討で、それでも上げざるを得ないという持っていき方だと思いますが、どこかに入れられないでしょうか。

委員はみんなこういう考えを言って、すんなり 1,700 円に入ったというように使われてしまうと思います。

金子部会長： 下から 2 行目の「妥当であるとの意見が出されました。」の次に「ただし、1,000 円程度の増額が妥当との意見も出されました。」を追加します。これでいかがでしょうか。

金子部会長： 提言 2 でこちらは望ましいことなので「望ましい」の言葉は残した方がいいと思います。タイトルの「応益負担からは」は削除します。

小林委員： まとめめの下の文章の 3 行目で「市民の納得を得るには」の部分は「市民の理解を得るには」とした方がいいと思います。

白井委員： 「一方で、意識調査の結果からも・・・」の部分は最後に持って行った方がいいと思います。

小林委員： 「一方で、」を「なお、」にした方がいいと思います。

子ども総務課長： まとめではなく、おわりにというところで保育料を含めてこの文章を付け足したいと思います。

児童青少年課長： まとめがおわりにになるときに、「育成料は、適正な利用者負担となるよう・・・設定すること。」の文は削除することになります。

白井委員： 受益者負担率が 50%ということが示されている以上はあり得ないですが、本来は、減額もあり得ると入れておきたいという思いはありました。

司会： 長い間ご議論ありがとうございました。

受益者負担、他市のこと、1,000 円程度の総額ということも入れるというのを含めて追加したいと思います。提言 1 の文末は「引き上げること。」と直します。

保育料と育成料を合わせて、おわりにというのを作成します。

大野委員： 子どもの参画とか、子どもの教育とか、育ちとか、色々と子どものことを話せる場だったり、そういう方と知り合えるということで出ていますが、料金の話ばかりならば、勘定ができる人と文章が上手な人が出た方がいいと思います。市民がこの会議に出る意味がなくなっています。全体会議では、全体報告をしてから子育てについて話をする時間はあるのでしょうか。

司会： 今年度の会議では、この育成料等の議題と計画の進捗評価となっておりますので、次回のタイミングで必ずとは言えませんが、時間ができたら、そういうお話もできると思います。

以上